

徳島市内鉄道高架事業における協議状況について

1. 3者協議の概要

徳島市内鉄道高架事業及びまちづくり事業に関して、県、徳島市、ＪＲ四国各者の相互理解を深め、今後の取組方針について議論するため、「まちづくりの検討」、「車両基地の場所」、「高架事業の進め方」について、昨年１２月から３者で協議を７回実施し、これまでの協議状況を取りまとめた。

（１）まちづくりの課題や検討項目の整理

○ 鉄道高架事業に関連するまちづくり計画の見直しが必要

- ・ 徳島駅周辺については、駅北側、南側の整備や駅周辺の動線等が相互に関連することから、まずは、駅北側の位置付けを明らかにする必要がある
- ・ 二軒屋駅周辺については、駅までの人の動線が円滑となるような都市計画道路、駅前広場や駅出入り口の配置検討が必要である

（２）車両基地候補地の条件整理

○ 「現行計画（基地：徳島市南部の牟岐線沿い）」、「新計画（基地：旧文化センター跡地）」、「代替計画（基地：徳島駅北側の現車両基地）」の３案について、メリット・デメリットを整理した。

- ・ 「新計画」及び「代替計画」は、「回送コスト」、「用地取得の難易度」や「早期効果発現」で「現行計画」よりも優位性がある
- ・ 「現行計画」は、「建設コスト」で他の案よりも優位性がある

○ 「まちづくり」の観点については、今後、「まちづくり計画の見直し」に合わせ整理する。

2. 今後の取組について

- 鉄道高架事業実施に向けて、引き続き、３者で協議を行う。
- まちづくり計画の見直しを図られるよう取り組む。
- 車両基地候補地の絞り込みは、まちづくり計画の見直しと合わせ、協議・検討を進める。また、周辺住民に対して、丁寧な説明を行い、理解促進を図る。
- 鉄道高架事業について、コスト縮減など３者で費用面等の調整を図る。